

令和8年度 第1回
全国健康保険協会岐阜支部評議会

令和7年度 事業実施結果について



令和8年7月16日
全国健康保険協会岐阜支部

1. KPI達成状況一覧 P3～5

2. 基盤的保険者機能関係 P7～13

- ・ 健全な財政運営
- ・ 業務処理体制の強化と意識改革の徹底
- ・ サービス水準の向上
- ・ 現金給付等の適正化の推進
- ・ レセプト内容点検の精度向上
- ・ 債権管理・回収と返納金債権発生防止の強化
- ・ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

3. 戦略的保険者機能関係 P14～24

- ・ 特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上（生活習慣病予防健診【被保険者】）
- ・ 特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上（事業者健診【被保険者】）
- ・ 特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上（特定健診【被扶養者】）
- ・ 特定保健指導実施率及び質の向上【被保険者】
- ・ 特定保健指導実施率及び質の向上【被扶養者】
- ・ 重症化予防対策の推進
- ・ コラボヘルスの推進
- ・ 医療資源の適正使用
- ・ 地域の医療提供体制等へのデータを活用した意見発信
- ・ インセンティブ制度の実施及び検証
- ・ 広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進

4. 組織・運営体制関係 P25～26

- ・ 更なる保険者機能の発揮に向けた人材の育成 / 働き方改革の推進 / 内部統制
- ・ 費用対効果を踏まえたコスト削減等

令和7年度 K P I 達成状況一覧（基盤的保険者機能関係）

施策	令和7年度 K P I 設定項目	令和7年度 K P I 目標	令和7年度実績	令和7年度実績 (全国平均)	K P I 達成状況 ○ 達成 × 未達成 △ ×のうち 全国平均以上	令和6年度実績	令和6年度からの比較
サービス水準の向上	サービススタンダードの達成状況	100%	100%	99.99%	○	100%	
	サービススタンダードの平均所要日数	7日以内	4.62日	5.50日	○	4.92日	
	現金給付等の申請に係る窓口受付率	3.8%以下	3.7%	4.0%	○	3.8%	
レセプト内容点検の精度向上	協会のレセプト点検（再審査）の査定率	0.112%以上	0.099%	0.128%	×	0.112%	
	協会の再審査レセプト1件当たりの査定額	11,886円以上	11,602円	10,017円	△	11,886円	
債権管理・回収と返納金債権発生防止の強化	返納金債権（診療報酬返還金（不当請求）を除く）の回収率	81.59%以上	79.62%	63.70%	△	81.59%	

令和7年度 K P I 達成状況一覧（戦略的保険者機能関係）

施策	令和7年度 K P I 設定項目	令和7年度 K P I 目標	令和7年度実績	令和7年度実績 (全国平均)	K P I 達成状況 ○ 達成 × 未達成 △ ×のうち 全国平均以上	令和6年度実績	令和6年度からの比較
特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上	生活習慣病予防健診 実施率	68.3%以上	65.0%	59.7%	△	63.9%	↑
	事業者健診データ 取得率	15.8%以上	12.2%	7.8%	△	10.9%	↑
	被扶養者の特定健診 実施率	32.1%以上	30.1%	29.4%	△	29.3%	↑
特定保健指導の実施率及び質の向上	被保険者の特定保健指導 実施率	34.2%以上	31.2%	21.7%	△	29.5%	↑
	被扶養者の特定保健指導 実施率	25.3%以上	25.4%	19.9%	○	19.1%	↑
重症化予防対策の推進	健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合	34.7%以上	34.2%	34.2%	△	34.7%	↓
コラボヘルスの推進	健康宣言事業所数	1,620事業所以上	2,038事業所	—	○	1,669事業所	↑
医療資源の適正使用	ジェネリック医薬品使用割合	89.8%以上	91.0% (R8.2現在)	90.5% (R8.2現在)	○	89.8%	↑
	バイオシミラー使用促進事業を開始し、医療機関や関係者への働きかけを実施（新規）	訪問実施	8件訪問	—	○	—	—
広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進	全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合	65.0%以上	65.43%	55.36%	○	64.75%	↑
	健康保険委員の委嘱事業所数	5,557事業所以上	5,652事業所	7,311事業所	○	5,557事業所	↑
	LINE公式アカウントを運用し、毎月情報発信を行う	毎月配信	毎月2～3件配信	—	○	毎月2～3件配信	→

令和7年度 K P I 達成状況一覧（組織・運営体制関係）

施策	令和7年度 K P I 設定項目	令和7年度 K P I 目標	令和7年度実績	令和7年度実績 (全国平均)	K P I 達成状況 ○ 達成 × 未達成 △ ×のうち 全国平均以上	令和6年度実績	令和6年度からの比較
費用対効果を踏まえたコスト削減等	一般競争入札に占める一者応札案件の割合	15% 以下	7.2%	10.2%	○	0%	

令和7年度 取り組み結果等

健全な財政運営

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
設定なし	—	—	—

令和7年度 主な取組

○評議会開催

- ・第一回（令和7年7月22日 開催）
【議題】・令和6年度決算見込みについて
・令和6年度事業実施結果について
- ・第二回（令和7年10月21日 開催）
【議題】・令和8年度保険料率について
・岐阜支部の課題を踏まえた今後の取組について
- ・第三回（令和8年1月19日 開催）
【議題】・インセンティブ制度に係る令和6年度実績について
・令和8年度保険料率について
・令和8年度岐阜支部事業計画（案）について

○保険料率と決算に関する情報発信

- ・保険料率…岐阜新聞・中日新聞に掲載した。（R8.3）
メールマガジンに掲載した。
- ・決算 …「協会けんぽだより」（納入告知書同封チラシ）に掲載した。（R7.9）

令和7年度 総括・課題

- ・評議会で令和6年度の決算見込みや事業結果、令和8年度の事業計画や予算等の説明を行った。
- ・令和6年度の決算見込みと令和8年度の保険料率を新聞や広報紙に掲載した。

令和8年度 主な実施計画

- ・加入者の平均年齢の上昇や保険給付費の増加等に伴い、今後の財政運営は厳しさを増すことが見込まれる。このため、協会全体および岐阜支部の運営について、事業主や加入者の理解を一層深めていただけるよう、協会の決算状況や今後の財政見通しに関する情報発信に努める。

加入者・事業主の皆さまへ

けんぽももっと！健康ももっと！

令和8年3月分（4月納付分）からの
保険料率のお知らせです

岐阜支部の健康保険料率

実行 9.93% → 9.80%
（全国平均保険料率の1%以下引き下げ）

介護保険料率 1.59% → 1.62%
子ども子育て支援料率 0.23%

「保険料率」の仕組みをご存知ですか？

「インセンティブ制度」によっても保険料率を引き下げられます。

5つの指標

- 1 特定 医療費の削減
- 2 特定 医療費の削減
- 3 特定 医療費の削減
- 4 特定 医療費の削減
- 5 特定 医療費の削減

保険料率やインセンティブ制度について 詳しくは 協会けんぽ 保険料率

TEL 058-255-5155

（岐阜新聞 R8.3.17、中日新聞 R8.3.19）

協会けんぽだより

協会けんぽのきまぐら

2024（令和6）年度決算（見込み）のお知らせ

2024年度の決算（見込み）の概算

2024年度の決算は収入が110,490円、支出が111,939円、収支差額は約1,449円の赤字です。

収入 110,490円
支出 111,939円
収支差額 約1,449円（赤字）

収入の内訳

- 保険料収入 64.6%
- 会費収入 0.3%
- その他収入 34.9%

支出の内訳

- 保険給付費 64.6%
- 会費収入 0.3%
- その他支出 34.9%

2024年度の決算は赤字額が増加しましたが、協会けんぽの財政は安定しているのでしょうか？

協会けんぽの財政は、国民、県、市町村により事業給付費の増減が決定されます。このため、事業主や加入者の理解が一層深めていただけるよう、協会の決算状況や今後の財政見通しに関する情報発信に努める。

全国健康保険協会 岐阜支部

TEL 058-255-5155

（協会けんぽだより R7.9月号）

業務処理体制の強化と意識改革の徹底

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
設定なし	—	—	—

令和7年度 主な取組

- ・全ての申請について積極的に多能化を推し進め、生産性の向上を図った。
- ・毎週のチーム代表者によるミーティングや各種勉強会を実施し、グループ内の情報共有や知識の向上を図った。

令和7年度 総括・課題

- ・積極的に多能化に取り組むことで、グループ全体での効率的な事務処理体制を整備した。引き続き各メンバーの習熟状況を把握したうえで、今後重点的に取り組む項目を明確にし、計画的に多能化を進め生産性の向上を図っていく。
- ・業務マニュアルや手順書に基づく統一的な事務処理の徹底により業務の標準化・効率化・簡素化に取り組み、迅速かつ正確な事務処理を継続していく必要がある。

令和8年度 主な実施計画

- ・業務量の多寡や優先度に対応するため、職員の業務処理の多能化を進め、業務処理体制を強化することで生産性の向上を図る。
また、電子申請に対応した業務処理体制を構築し、迅速かつ安定的な事務処理に努める。
- ・業務の標準化・効率化・簡素化を徹底するため、業務マニュアルや手順書に基づく統一的な業務処理を実施する。
また、グループ内のコミュニケーションを活性化させ、職員の意識改革を促進する。

サービス水準の向上

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
サービススタンダードの達成状況 100%	100% (全国平均 99.99%)	○	100% (全国平均 100%)
サービススタンダードの平均所要日数 7日以内	4.62日 (全国平均 5.50日)	○	4.92日 (全国平均 5.63日)
現金給付等の申請に係る窓口受付率 3.8%以下	3.7% (全国平均 4.0%)	○	3.8% (全国平均 4.2%)

サービススタンダード対象申請書：傷病手当金、出産手当金、出産育児一時金、埋葬料（費）

令和7年度 主な取組

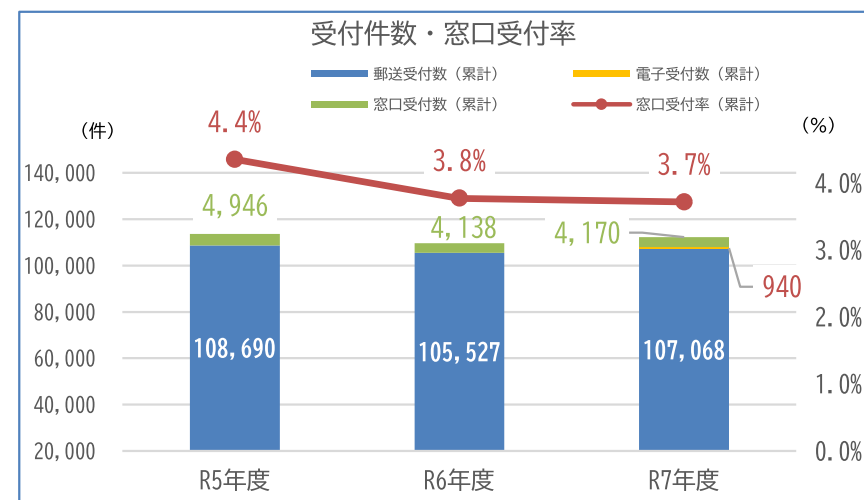
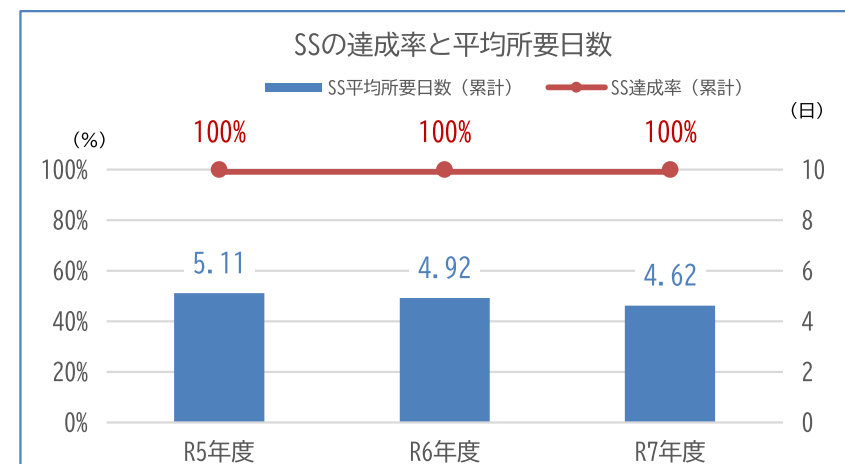
- ・受付等作業の迅速化を進めるとともに進捗確認を徹底することで、サービススタンダード（申請受付から10日以内の支払い）を順守し、平均所要日数の短縮に努めた。
- ・社会保険事務講習会（13会場）、社労士研修会・連絡協議会（3会場）において、マイナ保険証の取り扱いや電子申請の利用拡大に向けた周知・広報を行った。

令和7年度 総括・課題

- ・サービススタンダード対象申請書については安定して迅速に処理を進められたが、それ以外の申請書については時期によって処理が停滞することがあった。更なる多能化を推し進め、業務処理体制を強化していく必要がある。

令和8年度 主な実施計画

- ・すべての申請について、迅速かつ正確な業務処理を徹底する。
- ・加入者・事業主の利便性の向上や負担軽減の観点から、電子申請の利用を促進する。
- ・電話・窓口相談業務について、効果的な研修を実施する等、応対品質の向上を推進し、加入者サービスの向上に努める。



現金給付等の適正化の推進

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
設定なし	—	—	—

令和7年度 主な取組

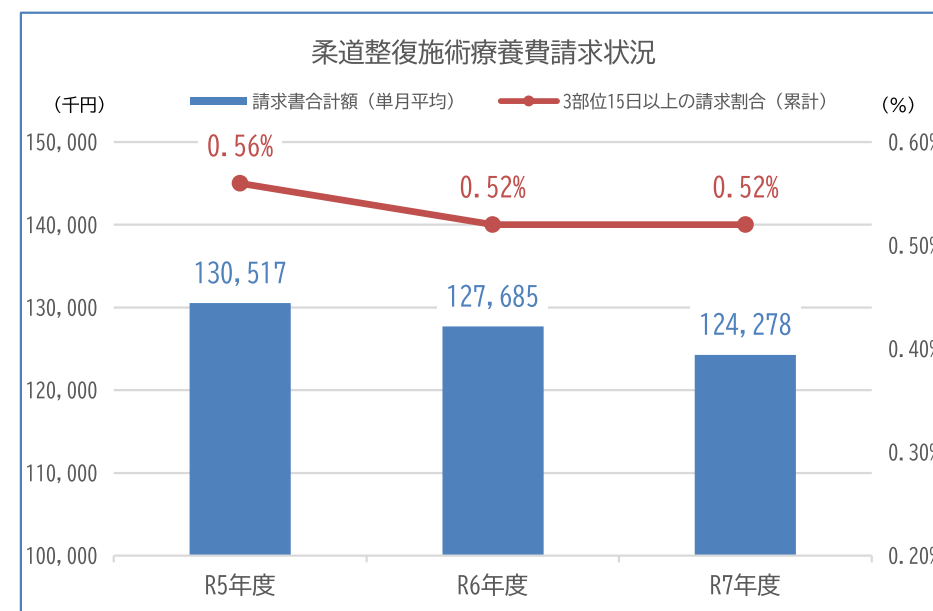
- ・柔道整復施術療養費について、負傷原因等を確認するための患者への文書照会及び、面接確認委員会における施術管理者へのヒアリングを実施した。
- ・あん摩マッサージ指圧、はり・きゅう療養費について、長期・頻回に施術を受けている患者及び施術者に対し警告通知を送付した。
- ・傷病手当金等の給付金について、不正疑い対象者を抽出し、保険給付適正化PTにおいて給付の妥当性を協議、必要に応じて立入検査を実施した。

令和7年度 総括・課題

- ・柔道整復施術療養費については、請求書合計額・多部位かつ頻回の施術割合ともに減少傾向が続いている。
引き続き効果的かつ効率的な適正化への取り組みを進めていく。
- ・不正の疑いがある申請に対しては、保険給付適正化PTでの内容精査・立ち入り検査の実施等、厳正に対処していく。

令和8年度 主な実施計画

- ・柔道整復施術療養費について、データ分析ツールを活用し多部位かつ頻回及び負傷と治癒等を繰り返す申請を抽出し、加入者への文書照会などの強化や面接確認委員会を実施する。
- ・現金給付の支給決定データ等の分析や加入者等からの情報提供により不正の疑いが生じた申請については、保険給付適正化PTにおいて内容を精査し、支給の可否を再確認する。また、必要に応じ事業主への立入検査を実施する。
- ・被扶養者資格の再確認について、未提出事業所への電話・文書による被扶養者状況リストの提出勧奨を強化し、確実に回収する。



レセプト内容点検の精度向上

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
協会のレセプト点検（再審査）の査定率 0.112%以上	0.099% (全国平均 0.128%)	×	0.112% (全国平均 0.131%)
協会の再審査レセプト1件当たりの査定額 11,886円以上	11,602円 (全国平均 10,017円)	△ ※未達成であるが全国平均は上回る	11,886円 (全国平均 9,908円)

(※) 査定率＝レセプト点検により査定（減額）した額÷協会けんぽの医療費総額

令和7年度 主な取組

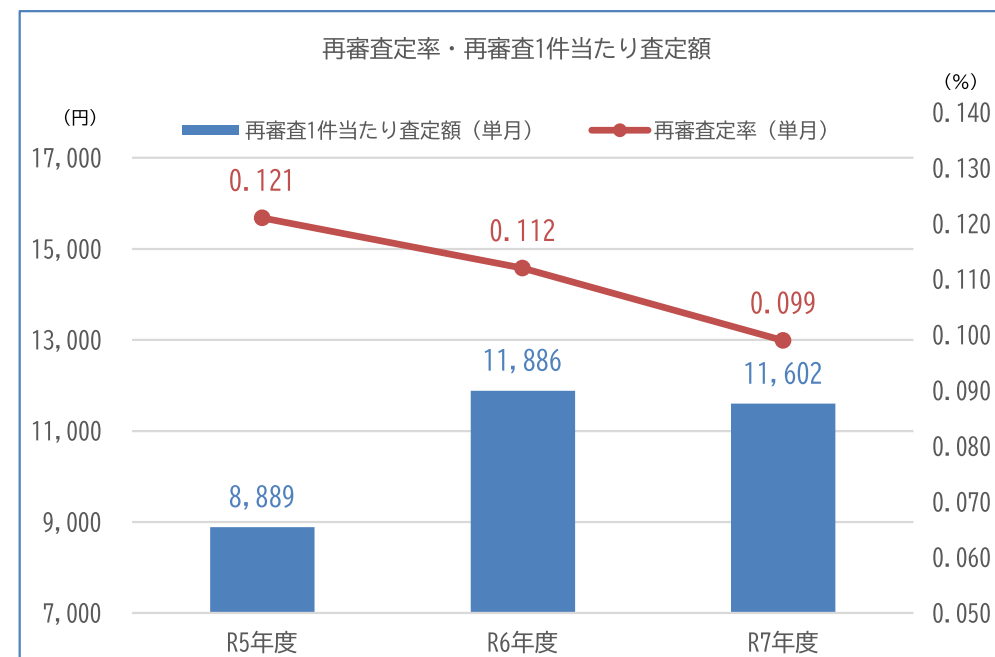
- ・レセプトシステムを最大限に活用した点検や、点検効果の高い高点数レセプトの点検を強化した。また、勉強会・研修を実施して点検員のスキル向上を図った。
- ・社会保険診療報酬支払基金と毎月協議を行い、審査・再審査結果の理由を明確にするとともに、協会の知見を踏まえた協議とすることで互いの審査向上を図った。

令和7年度 総括・課題

- ・高額案件の審査や点検員のスキルアップに取り組んだが、AI活用をはじめとする支払基金の査定率の向上や、点検員の人員減の影響があり、査定率・1件あたり査定額は目標を下回る結果となった。

令和8年度 主な実施計画

- ・「レセプト内容点検行動計画」を策定・実践し、システムを最大限に活用した点検を実施する。
- ・社会保険診療報酬支払基金における審査傾向や査定実績等を共有するほか、外部講師による研修や勉強会等で点検員のスキルアップを図るとともに、点検効果の高い高点数レセプトを重点的に点検する。
- ・社会保険診療報酬支払基金に対して、再審査請求理由を明確に示すことに努めるとともに、毎月の協議の場において基金の判断の理由を明らかにし、協会の知見をフィードバックする。



債権管理・回収と返納金債権発生防止の強化

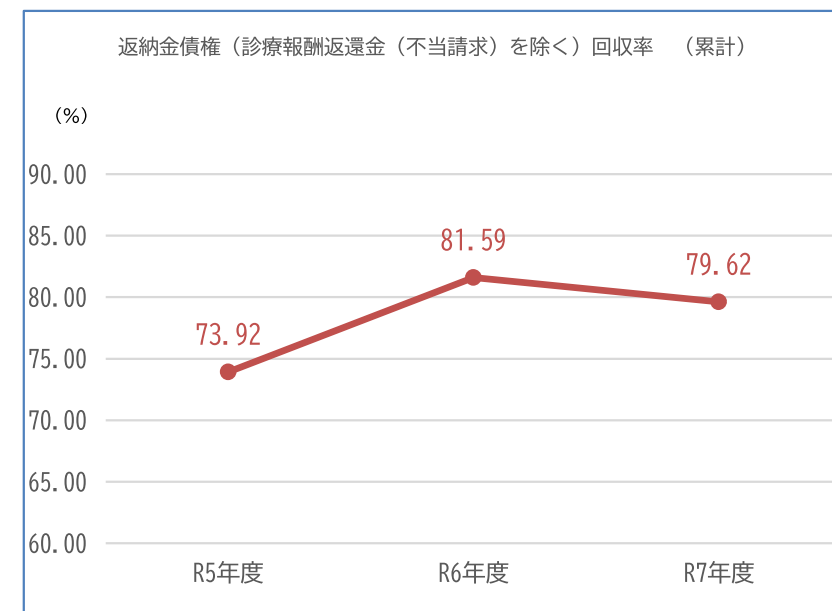
令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
返納金債権（診療報酬返還金（不当請求）を除く）の回収率 81.59%以上	79.62% （全国平均 63.70%）	△ ※未達成であるが全国平均は上回る	81.59% （全国平均 66.20%）

令和7年度 主な取組

- ・マニュアルに則った債権管理を実施し、返納金・損害賠償請求金等の速やかな返還請求、及び計画的な催告などに取り組んだ。
- ・保険者間調整の積極的な活用や、弁護士と連携した効果的な催告及び法的手続きを実施した。（支払督促：9件・強制執行：7件）
- ・資格取得・喪失時等の早期届出手続きの必要性について機会を捉え、周知広報を実施した。

令和7年度 総括・課題

- ・返納金・損害賠償請求金等の調定を速やかに行い、債務者へ早期の働きかけを行った。また、保険者間調整の積極的活用、法的手続きを実施した。
- ・オンライン資格確認・マイナ保険証の普及に伴い、資格喪失後受診にかかる返納金の件数・金額は減少しているが、加入者資格の遡及喪失等による高額な返納金債権の増加等の影響があり、目標を下回る結果となった。



令和8年度 主な実施計画

- ・「債権管理・回収計画」を策定・実践し、確実な回収に努める。
- ・発生した債権（返納金、損害賠償金等）については、全件調定及び納付書の速やかな送付を徹底するとともに、早期回収に向けた取組を着実に実施する。
- ・保険者間調整を積極的に活用するとともに、未納者に対しては早期の段階から弁護士と連携した催告及び法的手続きを実施する。
- ・オンライン資格確認を有効に活用させるため、事業主からの加入者の資格関係の早期かつ適正な届出について、日本年金機構と連携し、周知広報を実施する。

D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
設定なし	—	—	—

令和7年度 主な取組

○マイナ保険証、電子申請、けんぽアプリの利用促進に係る広報

- ・ラジオCMにて、マイナ保険証の利用について放送した。
- ・「マイナンバーカードカバー」を新生児の親へ送付した。
- ・関係団体（社労士会、商工会議所連合会、中小企業団体中央会）に訪問のうえ、電子申請の広報について協力依頼した。
- ・広報誌（協会けんぽだより、STYLE）へ掲載した。
- ・関係団体の広報誌（岐阜県社会保険協会、岐阜商工会議所）へ掲載した。



（健康保険委員向け広報誌 協会けんぽSTYLE R7.11）



（けんぽDX通信 R8.3）

令和7年度 総括・課題

○マイナ保険証

- ・マイナ保険証の利用率は徐々に上昇しているものの、発行枚数に比べ利用率にはなお上昇の余地があることから、引き続き利用率向上に向けた広報を実施する。

R8.4時点 マイナ保険証利用率 68.15%（全国民のデータ）、71.45%（岐阜県）
※厚生労働省 第212回社会保障審議会医療保険部会資料（R8.6.18）

○電子申請・けんぽアプリ

- ・電子申請およびけんぽアプリの更なる普及に向け、加入者への認知拡大を図るため、継続的かつ効果的な広報を実施する。

R8.6時点 電子申請利用率 9.9%（全国）、8.2%（岐阜支部）
R8.4時点 けんぽアプリ ダウンロード数 73,327件

令和8年度 主な実施計画

○マイナ保険証、電子申請、けんぽアプリの利用促進に係る広報

- ・中小企業合同新入社員研修（商工会議所主催）で新入社員に説明する。
- ・協会の広報紙、メールマガジン、LINE、ホームページに掲載する。
- ・「マイナンバーカードカバー」を新生児の親に送付する。
- ・関係団体の広報紙への掲載する。

特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上（生活習慣病予防健診【被保険者】）

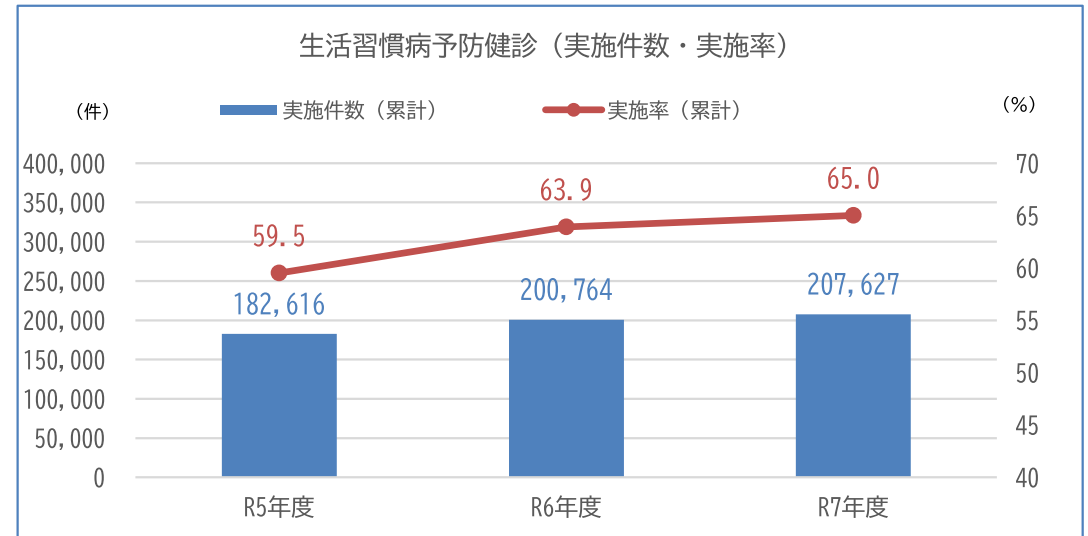
令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
生活習慣病予防健診 実施率 68.3%以上	65.0% (207,627件) (全国平均 59.7%)	△ ※未達成であるが全国平均は上回る	63.9% (200,764件) (全国平均 58.4%)

令和7年度 主な取組

- ・未受診者個人あてに受診勧奨DMを送付した。（夏：29,584名、冬：15,107名）
- ・岐阜労働局、岐阜県との三者連名文書により、小規模事業者へ受診勧奨を実施した。（1,000事業所）
- ・令和8年度からの人間ドック受託機関の確保に向け、飛騨地区の健診実施機関（久美愛厚生病院、下呂温泉病院）に訪問による働きかけを実施した。

令和7年度 総括・課題

- ・事業所への文書および電話勧奨、未受診者個人あての文書勧奨を実施したことで、令和6年度から実施件数が増加したが、目標の達成には至らなかった。
- ・さらなる健診実施数増加のため、人間ドック実施機関（機関の少ない圏域）を増やす必要がある。



令和8年度(2026年4月～2027年3月) 事業所の皆さまへ

生活習慣病予防健診の受診で従業員の健康を守りましょう

気づかぬうちに起きる「生活習慣病」

- 1 運動不足や過度な飲酒などの不健康な生活習慣
- 2 高血圧や高脂血症と身体の不調の現れ（生活習慣病の予兆）
- 3 糖尿病等の生活習慣病発症
- 4 心臓病や脳卒中など重症化・合併症の発症

メタボリックシンドロームとは？

従業員の「健康の現在地」を知るための健診を速に！

令和8年度から人間ドック健診が追加されました！

令和8年度から、生活習慣病予防健診等がさらに充実しました。

生活習慣病予防健診の内容

検査項目	検査内容	検査費用
一般健診	35歳～74歳未満（20歳未満は任意）	¥5,500/人
特定健診	20歳～35歳未満（20歳未満は任意）	¥990/人
特定健診（加齢）	20歳～35歳未満（20歳未満は任意）	¥2,500/人
特定健診（加齢）	40歳～45歳、50歳～55歳、60歳～65歳、70歳未満	¥8,280/人
人間ドック健診	40歳～74歳未満（20歳未満は任意）	¥1,390/人
人間ドック健診	35歳～74歳未満（20歳未満は任意）	¥990/人
人間ドック健診	40歳～74歳未満（20歳未満は任意）	¥1,700/人
人間ドック健診	40歳～74歳未満（20歳未満は任意）	¥540/人
人間ドック健診	35歳～74歳未満（20歳未満は任意）	¥25,000/人

NEW 令和8年度から、人間ドック健診の補助が始まりました。

令和8年4月から、人間ドック健診の費用補助を開始します。人間ドック健診費用のうち補助2万5000円を現金けんぽが負担します。

人間ドック健診の補助を受けるための注意

- 1 補助対象となる人間ドック健診は、人間ドック健診の補助を受けるための注意
- 2 補助対象となる人間ドック健診は、人間ドック健診の補助を受けるための注意
- 3 補助対象となる人間ドック健診は、人間ドック健診の補助を受けるための注意
- 4 補助対象となる人間ドック健診は、人間ドック健診の補助を受けるための注意
- 5 補助対象となる人間ドック健診は、人間ドック健診の補助を受けるための注意

人間ドック健診の補助を受けるための注意

令和8年度 主な実施計画

- ・受診率が低い小規模事業所及び未受診者に対する個人あて受診勧奨を実施する。
- ・人間ドック実施機関の新規開拓及び各健診機関における人間ドック健診の受け入れ拡大に向けた働きかけを行う。

特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上（事業者健診【被保険者】）

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
事業者健診データ 取得率 15.8%以上	12.2% (39,060件) (全国平均 7.8%)	△ ※未達成であるが全国平均は上回る	10.9% (34,251件) (全国平均 7.2%)

令和7年度 主な取組

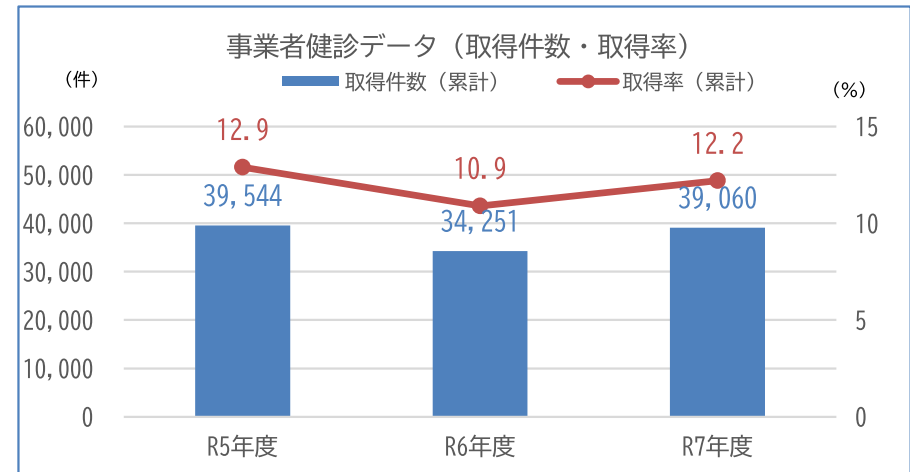
- ・健診受診率が低い事業所に対し、文書および電話勧奨を実施した。(5,400事業所)
- ・前年に健診結果データの提供を受けた事業所へ、令和7年度についてもデータの提供を依頼し取得した。(301事業所)
- ・事業所訪問による健診結果データ取得を実施した。(9事業所)

令和7年度 総括・課題

- ・令和6年度に課題となった、健診データの検査項目（問診を含む）に不足が生じないように、事前に委託業者と不備の多い項目を共有することで、データ不備による取得減を防いだ。
- ・健診実施機関へ進捗確認などを実施し取得件数の確保に努めたが、目標の達成には至らなかった。

令和8年度 主な実施計画

- ・事業者健診結果データの新規提供事業所の拡大および継続したデータ提供の推進を図る。
- ・過去にデータ提供実績がある事業所へのデータ提供勧奨を行う。
- ・健診実施機関へ提出状況の進捗を確認し、確実なデータ提供を依頼する。
- ・岐阜労働局、岐阜県との三者連名文書により、データ提供依頼を実施する。



（事業所向けパンフレット）

特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上（特定健診【被扶養者】）

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
被扶養者の特定健診 実施率 32.1%以上	30.1% (20,982件) (全国平均 29.4%)	△ ※未達成であるが全国平均は上回る	29.3% (21,220件) (全国平均 29.4%)

令和7年度 主な取組

- ・おてがる健診（被扶養者向けの商業施設等で実施する集団健診）を年間を通して実施した。（140会場 9,652名受診）
- ・受診者データの分析による勧奨対象の選定および受診勧奨を実施した。
 - ▷おてがる健診のDMによる案内を実施。（のべ206,912名）
 - ▷市町村が実施する住民健診のDMによる案内を実施。（のべ109,117名）
- ・ホテルにて無料集団健診を実施した。（2日程 297名受診）

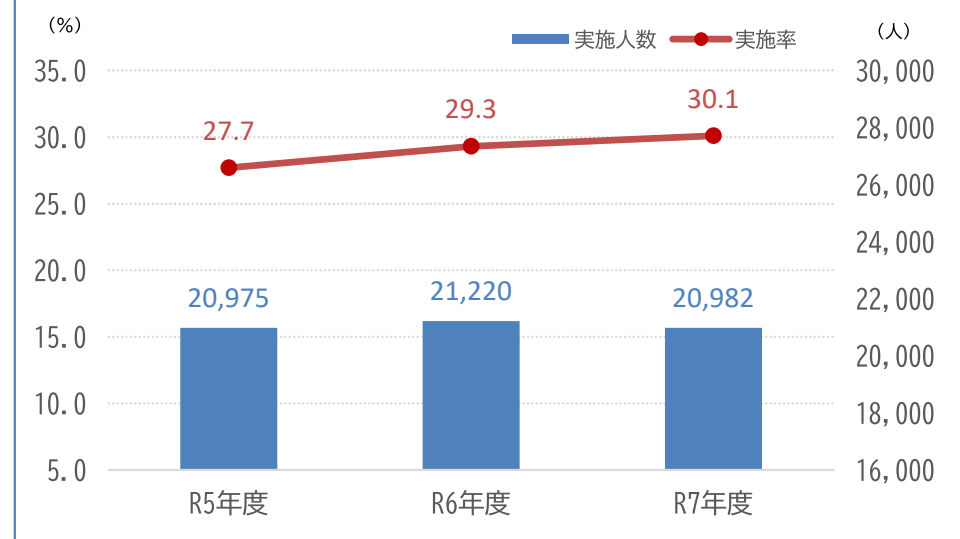
令和7年度 総括・課題

- ・おてがる健診を、岐阜県内各地で実施したこと、市町村や健診実施機関が行う集団健診の案内を行うなど、受診対象者に受診機会の提供を行ったが、目標の達成には至らなかった。
- ・受診者のさらなる増加に向け、申込方法の変更（インターネットでの申込）を検討し、利便性の向上を図る必要がある。

令和8年度 主な実施計画

- ・年間を通しておてがる健診を実施する。
- ・おてがる健診会場で受診できるオプション検査を充実させる。
- ・ホテルなど集客効果の高い会場で無料集団健診を実施する。（年2回）
- ・令和9年度から始まる被扶養者に対する健診体系の充実に向け、広報を実施する。

被扶養者の特定健診（実施率・実施人数）



（集団健診案内）

特定保健指導の実施率及び質の向上【被保険者】

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
被保険者の特定保健指導 実施率 34.2%以上	31.2% (12,767件) (全国平均 21.7%)	△ ※未達成であるが全国平均は上回る	29.5% (11,647件) (全国平均 20.3%)

令和7年度 主な取組

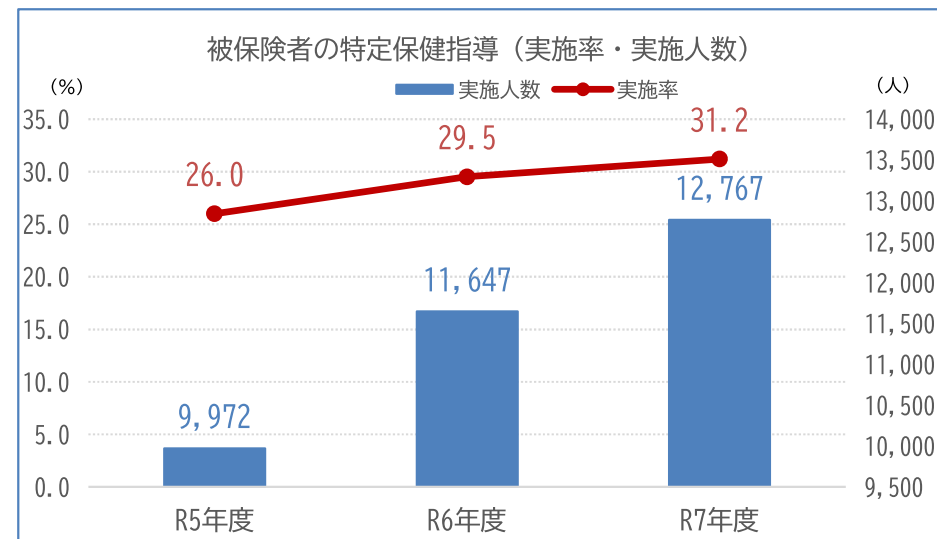
- ・ 検診車で健診を実施する際の、保健指導対象者のICT面談を実施した。(40件)
- ・ 運輸会社(1社)と協同し、本社勤務者への保健指導を実施した。(17件)
- ・ 支部長および保健グループ職員による健診実施機関への特定保健指導受託の働きかけを実施した。

令和7年度 総括・課題

- ・ 契約保健師、管理栄養士が、岐阜県内各地で訪問による特定保健指導を実施したこと、保健指導対象者がいる事業所に電話勧奨等を行ったこと、健診実施機関の実施数が増加したことで、令和6年度から実施件数が増加したが、目標の達成には至らなかった。
- ・ 実施件数のさらなる増加に向け、事業所への勧奨の実施、健診実施機関の実施体制の拡大を働きかけていく必要がある。

令和8年度 主な実施計画

- ・ 健診実施機関との連携により、健診日当日の初回面談の拡大を図る。
- ・ 検診車での保健指導のICT面談数の増加に向け、健診機関へ働きかけを実施する。
- ・ 指導対象者が多い大規模事業所へ、引き続きトップセールスを行うなど、健診実施機関を含めた協議を実施する。
- ・ 人間ドック健診において特定保健指導の対象に該当した者については、健診当日に確実に特定保健指導を実施するよう、健診実施機関へ働きかけを行う。



(事業所向け案内)

特定保健指導の実施率及び質の向上【被扶養者】

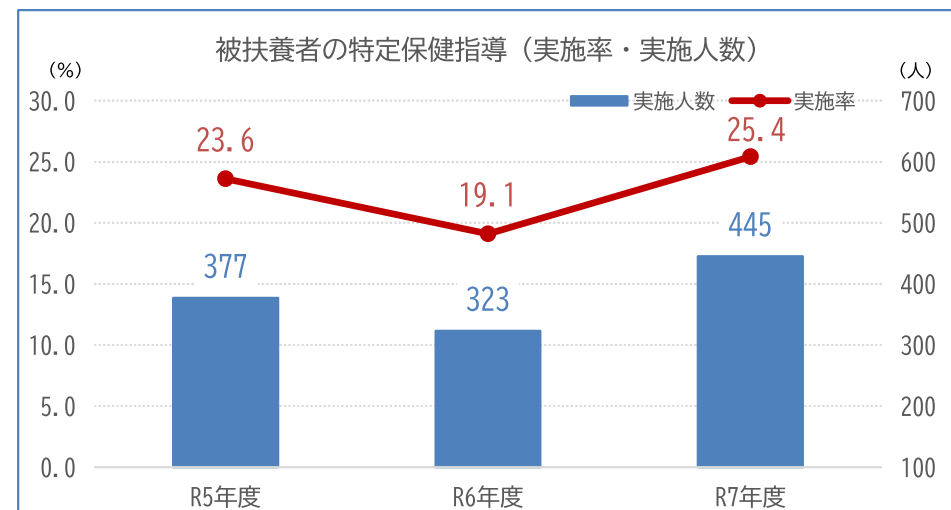
令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
被扶養者の特定保健指導 実施率 25.3%以上	25.4% (445件) (全国平均 19.9%)	○	19.1% (323件) (全国平均 17.1%)

令和7年度 主な取組

- ・ おてがる健診会場での健診当日の初回面談を実施した。
- ・ おてがる健診会場視察による状況確認および改善指示を実施した。

令和7年度 総括・課題

- ・ おてがる健診・ホテル健診会場で、健診機関の保健師等による特定保健指導を実施し、実施件数の確保に努めたことにより、目標を達成した。
- ・ 実施件数の増加に向け、おてがる健診・ホテル健診会場にて、確実に保健指導を実施すること、また、途中で中断させないよう最終評価まで確実に実施するよう健診機関へ働きかけていく必要がある。



令和8年度 主な実施計画

- ・ 被扶養者に実施する無料集団健診（おてがる健診）会場で、健診日当日の初回面談を実施する。
- ・ 健診実施機関ごとの保健指導実施状況を分析し、改善に向けた指導を行う。



(対象者向け案内)

重症化予防対策の推進

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合 34.7%以上	34.2% (全国平均 34.2%)	△ ※未達成であるが全国平均並み	34.7% (全国平均 33.8%)

令和7年度 主な取組

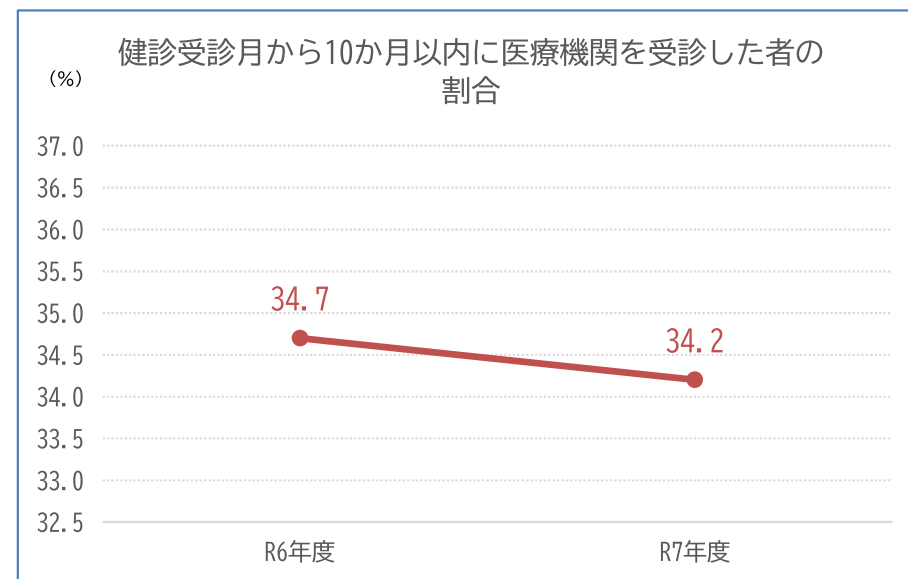
- ・岐阜県と連名の封筒を使用した受診勧奨文書を送付した。
(CKD：68名 糖尿病：511名)
- ・健診実施機関からの早期受診案内を実施した。
(19機関で1,278名に実施)
- ・未治療者へ文書および電話による受診勧奨を実施した。
(文書：12,498名 電話：1,348件)

令和7年度 総括・課題

- ・勧奨対象者に、文書および電話による勧奨を行ったこと、健診実施機関による健診実施後の早期受診勧奨を行ったが、目標達成には至らなかった。
- ・医療機関受診率のさらなる向上に向け、健診実施機関による受診勧奨の拡大を働き掛けていく必要がある。

令和8年度 主な実施計画

- ・健診実施機関ごとの受診率を検証し、早期の受診勧奨に向けて、健診機関へ働きかけを実施する。
- ・血圧、血糖、脂質の高リスク者に対し、文書および電話による受診勧奨を実施する。あわせて岐阜県と連携した受診勧奨を行う。
- ・事業所における受診勧奨の取組みを促進するため、未治療者受診勧奨ポスターを作成及び配布することで、受診率向上を図る。



(対象者向け案内)

コラボヘルスの推進

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
健康宣言事業所数 1,620事業所以上	2,038事業所	○	1,669事業所

※令和7年度のKPIは、令和6年9月末時点の実績を基に設定していることから、令和6年度の実績を下回る水準となっている。

令和7年度 主な取組

- 「協会けんぽと健康宣言」
 - ・岐阜新聞に支部長と岐阜県健康福祉部長との対談を掲載した。
 - ・岐阜県商工会議所連合会、岐阜県中小企業団体中央会と「健康づくりの推進等に向けた連携に関する協定」を締結した。
 - ・アクサ生命保険と岐阜北法人会で開催した健康経営セミナーにおいて協会けんぽと健康宣言について説明した。
 - ・職場の健康講座（メンタルヘルス、睡眠、運動等）を実施した。
 - ・健康課題抽出に役立つ「事業所健康度カルテ」を事業所に送付した。

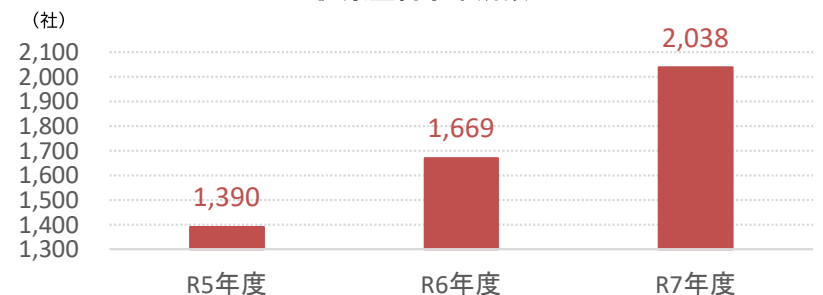
令和7年度 総括・課題

- ・健康宣言事業所数は目標を達成するとともに、健康経営優良法人認定事業所数も前年度を上回る結果となった。今後も関係団体との連携を強化するとともに、民間の協力事業者（生命保険会社等）のサポートも活用しながら、事業所における健康づくりを支援していく。

令和8年度 主な実施計画

- ・健康宣言事業所向けにメンタルヘルスセミナーを実施する。
- ・職場の健康講座（女性の健康、メンタルヘルス、睡眠、運動等）を実施する。
- ・生命保険会社などの健康経営推進協力事業者と連携し、健康宣言事業所における健康経営の取組を支援する。
- ・健康課題抽出に役立つ「事業所健康度カルテ」を事業所に配布する。

健康宣言事業所数



健康経営優良法人認定事業所数

	令和6年3月 認定	令和7年3月 認定	令和8年3月 認定
大規模法人部門	15社	18社	21社
中小規模法人部門	310社	402社	510社



岐阜県健康福祉部長との対談記事
(岐阜新聞 R8.3.30)



事業所健康度カルテ

医療資源の適正使用

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
ジェネリック医薬品使用割合 89.8%以上	91.0% (R8.2現在) (全国平均 90.5%)	○	89.8% (全国平均 89.1%)
バイオシミラー使用促進事業を開始し、医療機関や関係者への働きかけを実施	8件訪問	○	—

令和7年度 主な取組

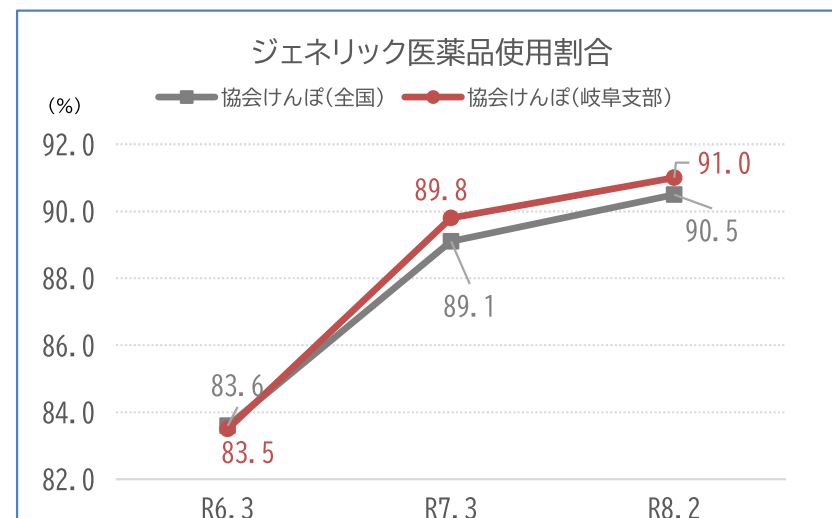
○ジェネリック医薬品の使用促進

- ・「見える化ツール（金額ベースの使用割合記載）」を医療機関と薬局に送付した。
また、岐阜県と合同で医療機関を訪問した。

○バイオシミラー使用促進のため医療機関・関係者への訪問

- ・医療機関（岐阜大学病院、岐阜県総合医療センター、大垣市民病院、松波総合病院、県立多治見病院）及び関係者（岐阜県、岐阜県病院薬剤師会、岐阜県薬剤師会）を訪問した。

- ※「見える化ツール」…個別医療機関ごとのジェネリック医薬品の使用割合やジェネリック医薬品使用割合の向上に寄与する上位10医薬品などを記載したもの。
- ※「バイオシミラー」…関節リウマチやがんなどの治療に使われるバイオ医薬品（注射薬）の後続品で、先発品と同等の効果や安全性が確認された医薬品。



令和7年度 総括・課題

- ・ジェネリック医薬品の使用割合は目標を達成した。引き続き、加入者への広報や医療機関への訪問を通じて理解促進を図り、使用割合の向上につなげていく。
- ・バイオシミラーについては、更なる認知度向上を図るため、各種広報媒体を活用した情報発信を強化する必要がある。

令和8年度 主な実施計画

- ・バイオシミラーの使用促進に向け、医療費データを分析し、その結果を踏まえて関係団体や医療機関へ働きかけを行う。
- ・地域フォーミュラ推進のため、関係団体や医療機関へ働きかける。
- ・ジェネリック医薬品の使用促進のため、「見える化ツール（金額ベースの使用割合記載）」を医療機関と薬局に送付して働きかける。
- ・ジェネリック医薬品の使用割合が低い医療機関を訪問する。



バイオシミラー訪問資料

地域の医療提供体制等へのデータを活用した意見発信

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
設定なし	—	—	—

令和7年度 主な取組

- 健診受診者の分析
 - ・健診受診者の動向について、外部有識者から助言を得ながら分析を進めた。
- 地域医療構想調整会議、岐阜県医療審議会、岐阜県保険者協議会
 - ・マイナ保険証の利用促進について意見発信した。
 - ・バイオシミラーの使用促進について意見発信した。
 - ・岐阜県保険者協議会で作成した医療費適正化のチラシを新生児の親（被保険者）に送付した。
- 岐阜県歯科医師会と連携
 - ・歯の健康についてのコラムを協会けんぽのメールマガジンに掲載した。

令和7年度 総括・課題

- ・健診受診者の動向について分析を行い、今後の取り組みに活用できる結果を得ることができた。今後は、分析結果を踏まえた効果的な施策を展開し、健診受診率の向上につなげていく。
- ・岐阜県保険者協議会等の会議の場において意見発信を行うことができた。今後は、協会けんぽが保有する医療費データを活用し、根拠に基づいた効果的な意見発信を行っていく。
- ・県歯科医師会と連携し、広報を実施することができた。今後は、これまでの取り組みを踏まえ、より効果的な情報発信を行っていく。

令和8年度 主な実施計画

- ・健診受診者の分析結果を踏まえ、対象者の特性に応じた効果的な受診勧奨を実施し、健診受診率の向上につなげる。
- ・岐阜県の保健医療計画及び医療費適正化計画の着実な実施に向けて進捗状況を把握しつつ、協会が保有する医療費・健診データの分析結果を活用し、会議の場において積極的に意見発信する。
- ・県歯科医師会と連携し、歯の健康に関する情報発信を行い、加入者の口腔健康への関心向上を図る。



(岐阜県保険者協議会のチラシ)

インセンティブ制度の実施及び検証

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
設定なし	—	—	—

令和7年度 主な取組

○インセンティブ制度の広報

- ・ホームページに掲載した。(R8.2)
- ・メールマガジンにて配信した。(R8.2月号)
- ・「商工月報」(岐阜商工会議所の広報誌)に掲載した。(R8.2月号)
- ・「協会けんぽだより」(納入告知書同封チラシ)に掲載した。(R8.3月号)
- ・「社会保険ぎふ」(社会保険協会の広報誌)に掲載した。(R8.4月号)

令和7年度 総括・課題

- ・岐阜支部の令和6年度インセンティブ制度の結果は総合3位であった。(R5年度:4位)結果として令和7年度の岐阜支部の健康保険料率は、本来9.85%だったが、インセンティブの付与で9.80%に引き下げることとなった。

令和8年度 主な実施計画

- ・加入者及び事業主にインセンティブ制度の仕組みや意義(インセンティブ付与による恩恵や付与がない場合のデメリット)を理解いただけるよう、各種広報を活用して周知する。
- ・インセンティブ制度の中で順位が低い指標について、重点的に事業を実施する。



(協会けんぽだよりR8.3月号)

広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合 65.0%以上	65.43% (全国平均 55.36%)	○	64.75% (全国平均 54.18%)
健康保険委員の委嘱事業所数 5,557事業所以上	5,652事業所 (全国平均 7,311事業所)	○	5,557事業所 (全国平均 6,997事業所)
LINE公式アカウントを運用し、毎月情報発信を行う	毎月2～3件配信	○	毎月2～3件配信

令和7年度 主な取組

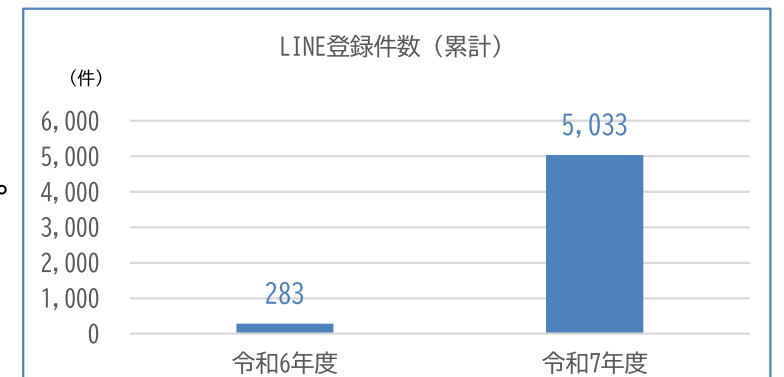
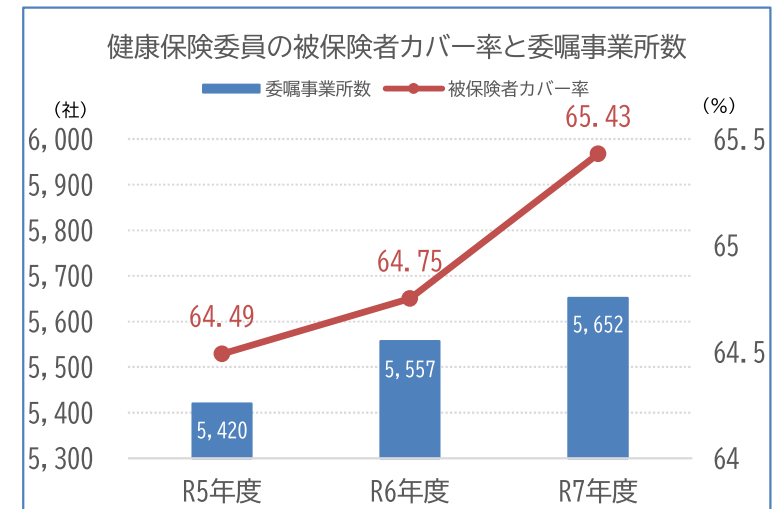
- ・ 広報誌（協会けんぽだより）、メルマガを通じた健康保険委員の登録を勧奨した。
- ・ 健康保険委員向け広報誌（協会けんぽSTYLE）、卓上カレンダー・付箋を送付した。
- ・ 山口小学校（中津川市）、竹原小学校（下呂市）において「健康教室」を実施した。
- ・ 小学生に配布する岐阜新聞「マナビのトビラ」に協会けんぽの事業を掲載した。
- ・ 協会けんぽの知名度向上のため、テレビ・ラジオCM（ぎふチャン・FMぎふ）を放送した。

令和7年度 総括・課題

- ・ 健康保険委員の登録勧奨により委嘱数が拡大し、目標を達成した。今後も委嘱数の拡大を図るとともに、研修会等の充実により健康保険委員の満足度向上に取り組む。
- ・ 特定健診の広報と併せてLINE登録勧奨を実施した結果、被扶養者のLINE登録者数の増加につながった。今後は、更なる登録者数の拡大に向け、効果的な広報手法を検討・実施していく必要がある。

令和8年度 主な実施計画

- ・ 減塩レシピ動画を制作してLINE等で発信する。
- ・ 中3～高3の学生に配布する岐阜新聞「高校ダイアリー」に健康に関する内容を掲載する。
- ・ 健康保険委員の事業所向けに循環器系の疾患に関するセミナーを実施する。
- ・ 健康教材を活用して小学生に健康教育を行う。
- ・ 健康保険制度の意義や協会の役割等を周知するためテレビ・ラジオCMを活用する。
- ・ 被扶養者の健診体系の見直し（R9年度）について、新聞や広報紙等に掲載する。
- ・ 健保委員に広報誌（STYLE）とグッズ（卓上カレンダー・付箋）を送付する。



令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
設定なし	—	—	—

令和7年度 主な取組

- ・ジョブローテーションと業務実態を配慮した人的資源の配分を行った。
- ・半期ごと、職員全員に岐阜支部の事業状況について説明会を行った。
- ・毎月の業務進捗会議により、進捗確認と今後の対応方法を確認した。

令和7年度 総括・課題

- ・お客様満足度向上のため電話対応研修を実施した。また、各グループにおいて業務マニュアルの確認を行うとともに、日々の業務を通じたOJTを実施し、人材育成に努めた。今後も、職員の対応力および業務遂行能力の向上を図っていく。
- ・事業説明会を開催し、全職員に岐阜支部の運営方針、目標および重点課題を周知することで、組織内への浸透を図った。
- ・毎月、管理職による進捗確認を実施し、各グループの進捗状況を共有するとともに、課題の把握および対応策の検討を行うことができた。

令和8年度 主な実施計画

- ・業務経験を通じて職員の成長を促し、業務遂行上必要となる研修を実施して組織基盤の底上げを図る。
- ・全員参加型の運営として、職員全員が支部全体の業務を認識し、一人ひとりの多能化とチーム連携による業務体制を構築する。
- ・協会の職員にとって健康で働きやすい職場環境と、業務に効率的に取り組める環境を整えるため、健康経営の推進、年次有給休暇や育児休業等の取得促進を支援する。
- ・保有する個人情報の漏洩等を防止するため、全職員に個人情報の管理状況を毎月確認するとともに、個人情報の保護に関する研修を行う。
- ・協会の社会的信頼の維持及び業務の公正性の確保に資するため、全職員にコンプライアンスに関する研修等を実施することにより、職員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上を図る。

費用対効果を踏まえたコスト削減等

令和7年度 KPI目標	令和7年度 実績	KPI達成状況	令和6年度 実績
一般競争入札に占める一者応札案件の割合 15%以下	7.2% (全国平均 10.2%)	○	0% (全国平均 9.9%)

令和7年度 主な取組

- ・業者が参加しやすい仕様書を作成し、競争性の確保および競争参加の促進に努めた。
- ・十分な公告期間および履行期間を設定し、業者が入札に参加しやすい環境を整備した。
- ・業者に対して積極的に入札参加を呼びかけ、競争参加の促進に努めた。

令和7年度 総括・課題

- ・KPIは達成したものの、14件の入札のうち1件が一者応札となった。今後は、仕様書の内容等を継続的に見直すなど、一者応札の解消に向けた取り組みを推進し、一者応札ゼロを目指す。

令和8年度 主な実施計画

- ・業者にとってわかりやすい仕様書を作成するとともに、十分な公告期間および履行期間を確保し、入札に参加しやすい環境を整備する。また、新規業者の入札参加を促進するため、積極的な働きかけを行う。

